

～ 健口と輝く笑顔のために～ ASSOCIATION

# 歯科衛生だより

発行人/吉田 直美  
 発行/公益社団法人 日本歯科衛生士会  
 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19  
 TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023  
<https://www.jdha.or.jp/>

2022 December vol. **72**

## 日本歯科衛生学会 第17回学術大会 ポストコロナ時代の口腔健康管理 — 口腔から支える健康長寿 —

主催：日本歯科衛生学会／公益社団法人日本歯科衛生士会  
 共催：一般社団法人徳島県歯科衛生士会  
 後援：徳島県／徳島市／一般社団法人徳島県歯科医師会／一般社団法人徳島市歯科医師会

「日本歯科衛生学会 第17回学術大会」が、2022年9月18日(日)～10月31日(月)の44日間  
 にわたり、新型コロナウイルス感染症の感染状況の下、参加者の安全に配慮して、昨年と同様に  
 Web開催(オンデマンド配信／一部ライブ配信)で開催されました。

当初は新型コロナウイルス感染症の感染縮小傾向がみられたことから、「ポストコロナ時代の  
 口腔管理」としてハイブリッド開催を予定していましたが、いまだウィズコロナ時代であり、残念な  
 がら、初の四国での現地開催は見送ることになりました。開催期間が延長され、通常は並行開催



されている講演・発表も視聴可能となり、質問も記入形式で行えまし  
 た。講演など6題、県民フォーラム1題、口演発表20題、ポスター発表  
 92題、企業協賛セミナー3題、ライブ配信1題のプログラムが組ま  
 れ、最新情報を入手することができ会員の研鑽を深めていくことがで  
 きました。参加者数は1,217名でした。

本誌では、特別講演、シンポジウム「ポストコロナ時代の口腔健康管  
 理—糖尿病改善へのアプローチ—」と一般の皆様にもご視聴いただいた  
 県民フォーラム「健康寿命を延ばす運動」の内容をご紹介します。

### 特別講演

## ポストコロナ時代の口腔健康管理

— 口腔感染症と全身疾患の関連性 —

徳島大学大学院 医歯薬学研究部 歯周歯内治療学分野 教授  
 湯本 浩通 氏



コロナ禍において、感染リスクが高い職種が歯科医療職であると報告されたにもかかわらず、歯科医療現場では、日頃からマ  
 スク、手袋、ゴーグル等の着用を徹底していることに加え、更なる感染予防策を講じたことで、歯科治療を通じての新型コロナウ  
 イルス感染例はほとんど報告されていません。歯科における感染予防対策は医療分野で高く評価されています。今後も我々は自  
 信をもって感染予防対策に取り組んでいくべきであると述べられました。

そして、近年、口腔と全身の健康状態や生活の質との関連について多くの報告があり、講演ではエビデンスに基づいて口腔バ  
 イオフィーム感染症、特に歯周病と全身疾患の関連性をお話いただき、口腔感染症から全身疾患発症、重症化への予防や対  
 応策としての口腔健康管理の可能性についてわかりやすく説明していただきました。

口腔健康管理においては、歯科衛生士は重要な位置を占め、歯と口の健康により健康寿命の延伸に導くためにも大きな役割  
 を担っていると語られました。 (日本歯科衛生学会 幹事 麻賀 多美代)

## シンポジウム ポストコロナ時代の口腔健康管理 — 糖尿病改善へのアプローチ —

## 基調講演

## 知と実践のプロフェッショナルを目指して

加茂健やかクリニック院長

吉本 勝彦 氏



近年、歯科と糖尿病の関連についての論文が多く発表されており、糖尿病専門医の視点から、糖尿病の診察方法、糖尿病の治療薬、血糖の検査方法について講演されました。糖尿病合併症である糖尿病性細小血管症・糖尿病性大血管症について、糖尿病治療薬である「SGLT-2阻害薬」「GLP-1受容体作動薬」が近年の糖尿病治療の第一選択薬となっていると説明がありました。「GIP/GLP-1受容体作動薬」の活用についても期待が高まっていること、また自己血糖測定方法として、指先に針を刺し血液を出して測定する「SMBG」、近年では機械をかざすだけで血糖値を測れる「is-CGM」も選択されるようになってきていることが示されました。

糖尿病は患者が主体となって治療していく疾患であり、医療従事者がサポート・アドバイスし、意見交換しながら最も適した治療方法を見つけていくことが重要であると考えさせられる講演でした。(日本歯科衛生学会 企画委員会 阿部 智美)

## 講演 1

## 歯科医師の立場から

徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔機能管理学分野 教授

松山 美和 氏



Withコロナ時代における歯周病と糖尿病の関連について講演されました。糖尿病に罹患しているとCOVID-19が重症化しやすいと報告されています。そのため、普段から歯周病治療を徹底し、また適切な口腔健康管理を行うことで血糖コントロールしやすい状態にしておく必要があります。COVID-19に感染して発症しても、血糖コントロールが良好であれば、重症化リスクを抑えられます。歯科の立場から歯科保健指導を行い、歯周病改善、セルフコントロールから血糖コントロールへつなげていくことが必要であると説明がありました。

最後に、医療従事者はCOVID-19に限らず全ての感染症予防対策に努め、口腔健康管理を必要とする対象者に対し安全に提供する必要があることが示されました。歯周病と糖尿病の関連を踏まえ、Withコロナ時代でどのようにアプローチすべきなのか、気づかされる講演でした。また、糖尿病予防指導認定歯科衛生士は社会的に期待されているため、認定を取得する歯科衛生士が増えることを望まれていました。(日本歯科衛生学会 企画委員会 阿部 智美)

## 講演 2

## 管理栄養士の立場から

公益社団法人徳島県栄養士会 会長

松村 晃子 氏



新型コロナウイルス感染拡大における生活様式の変化、糖尿病の食事療法の方針についてご講演いただきました。一般の方へのHbA1cに関する意識・実態調査の結果より、食事に対する関心が高いことから、糖尿病と食事は深い結びつきがあることが見えてきました。食事療法は糖尿病治療の中の基本ですが、生活習慣の多様化に伴い、一律の栄養指導が困難になっており、この状況に対応するために治療方針の個別化を図る必要があります。高齢者の場合、食事と栄養の問題点は多く、生活習慣病とフレイルが併存していることも珍しくないことが示されました。また、口腔の健康を保ち、いつまでも口から食べられるということは、糖尿病の食事療法の視点からも大切であることが説明されました。

糖尿病療養指導は、多職種が連携し行っていくことが重要です。歯科衛生士もその一員として多職種との協働の中で、今後、新たな指導展開を進めていくことを期待されていました。(日本歯科衛生学会 企画委員会 阿部 智美)

## 講演 3

## 歯科衛生士の立場から

社会医療法人川島会 川島病院 歯科・歯科口腔外科

高石 和子 氏



歯科衛生士の立場から糖尿病患者における医療連携、歯科治療において注意すべきことを具体的な症例を挙げながら講演されました。

糖尿病患者の口腔健康管理を行うにあたり、医科との連携として、電子カルテや糖尿病連携手帳で患者情報を共有して医療連携を行っていると話されました。

症例の1つとして、糖尿病腎症の方で透析患者の歯周治療ではHbA1cを指標とするのではなく、血糖値を確認していると説明があり、血糖値の高低は、患者によって使い分けていくと話されました。川島病院での糖尿病患者に関する研究では、非糖尿病患者よりもオーラル・ディアドコキネシス値、舌口唇機能が低下していることが明らかになりました。また、糖尿病患者の舌口唇機能低下には食品多様性スコアが関係していることも報告され、多様な食品をバランスよく摂取することは、口腔機能を維持する要因の1つであると説明されました。

糖尿病と歯周病に完治はないからこそ、糖尿病の症状が安定または改善するためにも長期的な口腔健康管理ができる体制づくりが必要であると語られました。  
(日本歯科衛生学会 企画委員会 小倉 千幸)

**総合  
討論**

日本歯科衛生学会会長の吉田幸恵氏の進行で糖尿病患者に対して各氏からの話がありました。吉本氏より、後期高齢者のBMIは25くらいが生命予後としてよいとされており、良質なタンパク質摂取を心がけることを指導していると説明がありました。また、1型の糖尿病では、インスリンが枯渇している状態のため、コントロールするのが難しく、低血糖を起こしやすいことや、2型糖尿病でも、血糖のコントロールができない患者には、糖尿病だけでなく背景を把握していく必要があるとの提案がありました。松山氏は、認定歯科衛生士の方々が、社会貢献し実践の場で活躍していただきたいと考えていると述べられました。松村氏は、後期高齢者は、生活の全てが自立しているとは限らないため、一緒に生活している家族の方にも糖尿病治療やフレイル予防も説明していると話されました。高石氏は、血糖のコントロールができていない患者には、ほぼ通常の歯周治療をおこなっているが、糖尿病のコントロールが不良な方は、歯周治療も上手くいっていない印象があると語られました。

(日本歯科衛生学会 企画委員会 小倉 千幸)

## 県民フォーラム

### 健康寿命を延ばす運動

学会のプログラムの中で、一般の方も無料で参加できる「県民フォーラム」は、毎回学会共催県が担当し、県内在住の著名な方をお願いしています。今年もWeb(オンデマンド配信)で繰り返し視聴することができました。

田中氏は普段から健康寿命を延ばすための「健康運動」や「運動療法」を研究されています。「とくしま健康寿命からだカレッジ」を開設し地域でのリーダーを育成、その傍ら地域活性化活動を展開し、地域での起業や人材育成の支援をされ、地域貢献に取り組まれています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で自粛生活が続き、外出や活動の機会が減り、運動不足となっています。生活習慣病の予防は「1に運動、2に食事」が大切であり、自粛が健康寿命を短くすることから、スクワット、バランストレーニング、ストレッチなど、簡単に継続して取り組める運動の方法をご紹介いただき、あらためて運動の大切さを考える良い機会となりました。

講演の中には「人は脚力と共に老いる」「老後の備えに貯筋」「のばしたい しわと歩数と 健康寿命」「貯筋して健康という利子がついてくる」などの名言にも感心させられました。

徳島県は糖尿病死亡率が毎年全国上位にあり、行政ではこ

徳島大学 人と地域共創センター  
教授 田中 俊夫 氏



の状況を改善するために「プラス1,000歩く」ことや阿波踊り体操を活用した健康づくりを推奨しております。

阿波踊り体操には、スクワット、ストレッチ、筋力づくり、バランス運動、全身運動の多要素が含まれており、楽しく継続して取り組めると思います。また阿波踊り体操を継続することで、実際の阿波踊りに参加される時には上手く踊れそうですね。

阿波踊り体操には、基礎編からリハビリ編などバージョンに応じたDVD、YouTube配信もされています。興味のある方はPC(スマホ)検索をおすすめします。

「膝上げて 腰下げて  
健康寿命延ばしましょう～  
踊らな そんそん！」



(第17回学術大会 大会長  
一般社団法人徳島県歯科衛生士会 会長 河野 美枝子)

全国各地から 北海道歯科衛生士会

生涯を通じた口腔健康管理の推進ならびに歯科衛生士の職業PR事業  
一般市民向け展示イベント「おくちの けんこう展」開催報告

HOKKAIDO

本会では、これまで乳幼児・学童・高齢者など、さまざまな一般市民を対象とした対面型・体験型の啓発イベントを実施してきました。しかし昨今の新型コロナウイルス感染症の蔓延により、これまでのような開催形式が困難となり、新たに一般市民向けの展示イベントを企画しました。口腔の健康の大切さについてポスターを作成・展示し、一般市民へ啓発するとともに、歯科衛生士の職業PRも行い、今後、歯科衛生士を目指す中高生へのアプローチの場としても活用することを考えました。

そこで、令和3年度日本歯科衛生士会「地域歯科衛生活動」事業の助成を受け、「生涯を通じた口腔健康管理の推進ならびに歯科衛生士の職業PR事業」を実施しましたので報告いたします。

事業の目的

口腔健康管理の啓発としてセルフケア方法・使用用具の選択や管理・口腔機能について情報発信し、多くの世代の方に口腔に関心を持っていただくとともに、北海道では歯科衛生士養成校の卒業生が減少している現状もあることから、歯科衛生士の職業PRも目的としました。



事業内容

展示イベント「おくちの けんこう展」の開催

開催日時：2021年7月 9 日(金) 14時～19時  
7月10日(土) 10時～15時

会場：札幌市民交流プラザSCARTSモールB

主催：一般社団法人 北海道歯科衛生士会

来場者数：2日間合計120名

啓発ポスター 8枚を展示

- ① 北海道 子どものむし歯全国ワースト8!?  
…都道府県別の12歳児一人平均むし歯数、本会の学校歯科保健指導の取り組みについて
- ② ATTENTION大人むし歯!  
…成人期と高齢期でのむし歯の好発部位の違いについて

③ 歯ブラシ交換してますか?

…月1回の歯ブラシ交換の推奨、毛が開いた歯ブラシを使用した際のプラーク除去率について

④ 歯ブラシにプラスしてみませんか?

…デンタルフロス・歯間ブラシの使用ポイントと効果

⑤ 在宅ワークで急増中!? ダラダラ食べに注意

…ステファンカーブや間食の摂り方について

⑥ お水がわりにスポーツドリンクの罠

…スポーツドリンクの摂取方法について

⑦ 歯科医院へメンテナンスに行こう!

…50代のメンテナンス受診率と失った歯の本数について

⑧ 歯科衛生士は一生の仕事!

…歯科衛生士の職業紹介

※いずれも、本会ホームページ「資料ダウンロード」ページより閲覧・ダウンロードが可能です。



イベントでは来場者同士やスタッフとの密を避け感染対策を行い、口腔衛生やセルフケアについてのポスター展示を行いました。ステイホーム期間が長期にわたったこともあり、自宅でも注意できる間食についてのポスターは多くの来場者の目を引きました。pH5.5を下回ると歯の脱灰が始まることを図や数値で示したことで伝わりやすく、ダラダラ食べによる影響を知らず驚かれる方が多くみられました。

補助的清掃用具についてのポスターでは、歯間ブラシとデンタルフロスの用途の違いを理解している方が少なく、使用している方も少ない印象を受けました。来場者から使用方法について質問があり、スタッフが顎模型を用いて説明する場面もありました。「難しそう」「少し面倒そう」というイメージを持つ方が多くみられましたが、隣接面のケアの重要性についてお伝えすると「家でやってみようかな」と前向きな言葉も聞くことができました。一方で、メンテナンスの重要性をしっかり理解し「今、メンテナンスに行ってきた」と歯科の帰りに立ち寄った来場者もあり、口腔内への関心度の違いも知ることができました。また、本事業の目的の1つでもある歯科衛生士の職業PRでは、コロナ禍の影響が中高生の来場が少なかったため、今後の周知方法が次回への検討課題となりました。

翌年1月に口腔機能編として第2回の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により直前に開催を見合わせました。開催にあたり本会ホームページ等の他、地域の情報誌にも開催案内を掲載していたため一般市民からの問い合わせもあり、一般市民の口腔への関心度や本会のイベント開催の意義も知ることができました。また、ポスター作成に関しては、掲載するデータは転載許可などの手続きを行って使用し、北海道大学大学院歯学研究院 准教授の渡邊裕先生に監修していただきました。

## 得られた成果

北海道歯科衛生士会として、一般市民と直接交流できるイベントは貴重な普及啓発の機会となっています。今回、実際に一般市民とお話することで、口腔に対する関心度を知ることができました。ご自身の口腔内だけでなく、介護中の家族の口腔内の相談等もあり、身近に口腔内について相談できる機会を作ることも私たちの仕事ではないかと改めて認識しました。

また、このイベントで展示したポスターは本会ホームページに掲載し、どなたでもダウンロード可能としました。その結果、北海道庁保健福祉部地域保健課の「道民健康づくりの日」、「8020推進週間」での使用依頼のほか、全道各地の保健所、保健センター等からポスターを掲示したいとの問い合わせが多数寄せられ、イベント開催時のみならず全道各地の市民に見ていただく機会となりました。



## 次年度に向けて

今回初めての展示イベントで、来場者に何をどのように伝えたら良いか？一般市民は何を知りたいのか？など色々模索した中での開催でしたが、直接一般市民と交流することで対面イベントの重要性を再認識しました。またイベント開催だけではなく、本会のホームページなどで情報を発信することにより多くの職域でポスターを活用していただき、より多くの道民が口腔への関心を高めるきっかけにしたいと感じています。

令和4年度は「おくちのけんこう展」の開催とともに、作成したポスターをチラシとして印刷して希望する会員に配布し、歯科医院や介護施設、介護予防教室などさまざまな場所で活用していただいています。会員からの意見をもとに、内容の改善や今後のより良い媒体作成につなげていきたいと考えています。また、未来の歯科衛生士を発掘できるよう、歯科衛生士の職業PRにも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

(一般社団法人北海道歯科衛生士会 理事 宮本 亜有美)

# 口腔カンジダ症(カンジダ口内炎)をご存じですか？

むし歯や歯周病の他にも口の中には、気がつくとも痛みをとまなう「できもの」ができてることがあります。ひとくりに「口内炎」と呼ばれていますが、何らかの原因により粘膜に刺激が生じ上皮に炎症が起こり、ただれた状態です。特にできやすいのは頬や唇の内側などの柔らかい部位に発症します。

その中でも要介護高齢者、がん患者にみられる「カンジダ症(カンジダ性口内炎)」について説明します。

## カンジダ症とは

カンジダ症は、カビの一種であるカンジダ菌によって発症します。カンジダ菌自体は体の中に生息する数百種に及ぶ常在菌の一つであり、健康人にも検出(健康人の45%、入れ歯装着者は60%以上:USA Color Atlas of Clinical Oral Pathology)(参考文献:全国共通がん医科歯科連携講習会テキスト(第二版))され、通常は健康に影響を及ぼすことはありません。加齢や疾病治療として炎症を抑えたり、免疫の働きを弱めたりするために使用されるステロイド薬、がん化学療法、放射線療法などによって、常在菌のバランスが乱れると、カンジダ菌が増殖して発症します。また、口腔の自浄性の低下や不潔な入れ歯など、口腔内の不衛生で発症することもあります。症状としては、口の中に白いカッテージチーズ様の白斑、白い膜などが発生します。比較的容易にぬぐい取ることができますが、ヒリヒリ感や痛みを感じる方もいます。そのため食事が摂取できなかつたりする場合もあります。その他、紅斑様のもの、舌苔内の微生物が壊死し組織などの色素から黒色のものもあります。



## 全身的な原因

まず、内服や注射用抗菌薬による菌交代現象です。口腔内常在菌の多くは抗菌薬に感受性を示しますが、入院加療をうけているような方の中には長期間の抗菌薬やステロイドの投与により感受性が減少し、MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)や緑膿菌のような耐性菌が占めることがあります。カンジダ菌は抗菌薬に感受性がないため、菌交代現象として口腔カンジダ症を生じることがあります。

また、全身的な感染防御機能が低下した場合、さまざまな菌による日和見感染症を生じることがありますが、カンジダ菌は最も高頻度に検出されるものの一つです。

要介護高齢者では個人差があるものの一般的に感染防御機能が低下していると考えられ、がん、糖尿病、腎不全などの基礎疾患を合併しやすく、注意が必要です。

また、がん患者、がん化学療法後の好中球減少時に伴い発症することが多くあります。

## 局所的な原因

口腔乾燥、口腔の不潔、入れ歯の使用、局所ステロイド薬(気管支喘息に対する吸入、口内炎に対する軟膏)の副作用などがあり、これらは密に関連性を持っています。

唾液分泌量の減少と口腔からの水分の蒸発によって口腔乾燥

SUNSTAR

BUTLER

口腔粘膜、気になる傷口のケアに  
傷口をカバーして保護するお口の液体絆創膏

## バトラー マウスベール お口の液体絆創膏

Mouth Veil Oral Liquid Bandage 液体包帯 一般医療機器

【分類】一般医療機器 【一般的名称】液体包帯 【販売名】バトラー マウスベール お口の液体絆創膏  
【届出番号】27B1X00134000003 【内容量】90mL

※本品は一般医療機器「液体包帯」であり、保険請求はできません。

使用方法、使用上の注意などについては添付文書をご参照ください。

商品についてのご質問・ご不明な点は下記へお問い合わせください。

### サンスター株式会社

〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3番1号  
TEL:072-682-4733  
FAX:072-684-5669



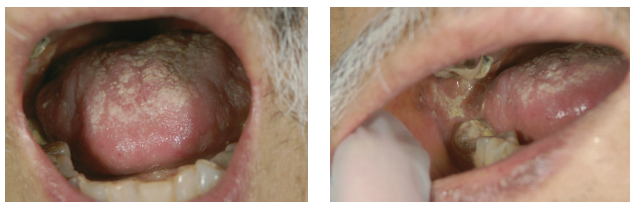
※内容物のイメージ画像

®登録商標。BUTLERは登録商標です。2021年11月作成

は起こります。唾液分泌量低下は、放射線療法など唾液腺に障害がおき機能が不可逆的に低下する場合と、唾液分泌の機能があっても唾液の生産性が低下する場合があります。生産性が低下するものには、手術や治療に伴う「絶食」、輸液量の制限(心不全予防、浮腫予防)による「脱水」、医療用麻薬、抗うつ薬、利尿剤、睡眠薬などの「薬剤の副作用」などが考えられます。

水分の蒸発は、経口気管チューブ、酸素マスクの使用や、口呼吸、発熱によって助長されます。

口腔が不潔になるのには、セルフケア能力の低下の影響が大きいです。がん化学療法、放射線療法にて発生する口腔粘膜炎症による痛みのためケアが実施できない状況もあります。また、絶食は唾液の分泌量を減少させるだけでなく、食物と粘膜との摩擦が消失し、汚染された付着物や菌を嚥下してしまい、排除されることがなくなってしまいます。唾液による抗菌作用、自浄作用が著明に低下し、カンジダ菌が定着、増殖されます。



入れ歯は、床と呼ばれる歯肉色の部分はレジンというアクリル樹脂でできており、表面が多孔性で吸水性があります。そのため、カンジダ菌が付着しやすく、清掃を怠ると入れ歯そのものが菌のすみかになってしまいます。

その他、気管支喘息に対する吸入薬や口内炎に対する軟膏などにはステロイドが含まれ、その副作用としてカンジダ菌が増殖します。

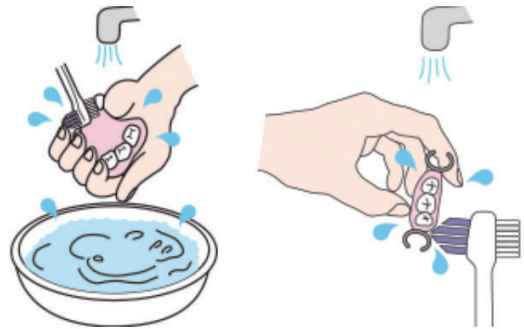
## 口腔カンジダ症の予防と対処法

歯磨きや含嗽(うがい)、白苔除去など口腔ケアをし、清浄化した状態を、保湿によって維持することが大切です。経口摂取や口

腔ケアによる刺激で唾液の分泌を促進させ、粘膜からの蒸発を予防するため保湿ジェルの使用やマスクの着用も有用です。

経口摂取が制限されている場合こそ、口腔の自浄作用が低下していると考え、口腔ケアを徹底する必要があります。唾液の分泌を促進し、口腔の自浄作用を高め、口腔機能の廃用予防にもつながります。

入れ歯の適切な清掃は重要です。流水下で、「義歯ブラシ」などでブラッシングし義歯洗浄剤を正しく使用しましょう。



義歯清掃方法

出典：公益財団法人ライオン歯科衛生研究所「歯と口の健康研究室」

また、ステロイド軟膏の漫然とした長期使用は避けましょう。全身状態を把握したうえで、感染防御機能の低下が著明な場合や白苔が厚く広範囲な場合は、医療機関にて抗真菌薬の検討・処方が必要となります。

カンジダ症は、要介護高齢者、がん患者に多く見られます。要介護高齢者、がん患者は感染防御機能の低下状況の上、経口摂取の制限、唾液分泌の減少に伴う口腔乾燥、清浄化の低下、ステロイドの使用など口腔カンジダ症が発生する要因が多くあります。口腔内の苦痛を軽減し、支持療法の観点からも口腔ケアを中心に清浄化、保湿と入れ歯の管理が重要となります。

(公益社団法人日本歯科衛生士会 病院委員会)

Thinking ahead. Focused on life. MORITA

水溶性“カルシウム”と“フッ素”がWで配合!  
**POs-Ca F**  
 水溶性カルシウム(POs-Ca)+緑茶エキス 配合ガム

かむたびに、カルシウムとフッ素(フッ化物)イオンがお口に広がるガム

種類  
 ペパーミント / マスカット / ストロベリー

標準価格  
 パウチタイプ100g 各650円  
 希望患者価格 各750円(税別)

●掲載商品の標準価格は、2021年12月1日現在のものです。標準価格には消費税は含まれておりません。  
 ●仕様および外観は、製品改良のため予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。  
 ●ご使用の際は、製品説明を必ずお読みください。

製造 江崎グリコ株式会社 大阪山崎本町4-6-5 〒555-8502 お客様相談センター T 0120.917.111(月~金9:00~18:30)  
 発売 株式会社 モリタ 大阪本社: 大阪府吹田市垂水町3-33-13 〒564-8690 T 06.6380.2525  
 東京本社: 東京都台東区上野2-11-5 〒110-8913 T 03.3834.6161  
 お問合せ お客様相談センター 歯科医療従事者様専用 T 0800.222.8020(フリーコール) www.dental-plaza.com

LION

らくらくハミガキ  
 軽くすずける  
 たっぷり歯磨き成分  
 歯肉の腫れを防ぐ成分

らくらくハブラシ 620 S・ES

介護するひと、されるひとの笑顔を 口腔健康でつなぐ

エラック ハミガキ(販売名:エラックハミガキ)メーカー希望小売価格/個:638円(税込) エラック 620 S(ソフト)・ES(エクストラソフト)メーカー希望小売価格/個:275円(税込) ●フッ化物 高濃度配合品(1450ppmF)の6才未満への使用は控え、子供の手の届かない所に保管してください。

らくらく、やさしく、清潔に。 介護では、口腔ケアも大切だから。

ライオン歯科材料株式会社  
 〒130-8644 東京都墨田区本所 1-3-7 TEL.03(3621)6183 https://www.lion-dent.com/

医歯薬出版

2022年の歯科衛生士向け

新刊・好評書

新刊

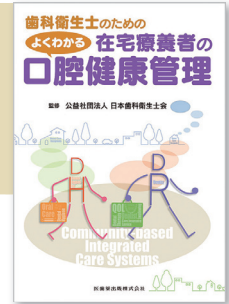
## 歯科衛生士のための **よくわかる** 在宅療養者の**口腔健康管理**

公益社団法人日本歯科衛生士会 監修  
吉田直美・久保山裕子・山口朱見 編著

今まで歯科医院の中で働いていた歯科衛生士が在宅療養者のもとへ訪問して口腔健康管理を提供するために、在宅療養者に多くみられる疾患の事例を豊富に収載し、実際の進め方をわかりやすく学べるようにまとめました。

■ A4判/88頁/カラー ■ 定価 3,300円(本体 3,000円+税10%) ■ ISBN978-4-263-42297-7

地域包括ケアシステムのなかで  
歯科衛生士が口腔健康管理の  
担い手として活躍するための  
知識を集め、  
コンパクトにまとめた一冊!



歯科衛生士のための

## 口腔機能管理マニュアル **高齢者編** 第2版

公益社団法人日本歯科衛生士会 監修/森戸光彦 編集主幹/吉田直美・金澤紀子 ほか 編集

高齢者への口腔機能管理の基礎から臨床応用まで学べる期待の書、改訂版が出ました!

いま、歯科衛生士として口腔機能管理の専門性が問われています。そこで、「口腔機能管理って、どんなことをするのか?」という疑問に応える口腔機能管理マニュアル、改訂版の登場です。日本歯科衛生士会認定研修対応の書籍。

■ B5判/240頁 ■ 定価 4,290円(本体 3,900円+税10%) ■ ISBN978-4-263-42299-1



デンタルハイジーンBOOKS

マンガでわかる!

## 心によりそう小児歯科臨床

土岐志麻 著

雑誌『デンタルハイジーン』の好評連載が書籍化。雑誌連載時のマンガ編に加え、小児歯科に関する解説を大幅に加筆。予防処置や各種指導・支援、コミュニケーションなどの具体的な歯科対応から、女性患者さんの妊娠期から出産、そして子どもの成長過程における困りごとの変化を理解できます。

■ A5判/192頁/一部カラー ■ 定価 4,400円(本体 4,000円+税10%) ■ ISBN978-4-263-46328-4

マンガでやさしく  
小児歯科臨床が学べます!



〈新版〉考える歯科衛生士のための

## 歯周治療レッスンブック

浦口良治・品田和美・鍵和田優佳里 編著

2012年に発行された雑誌の別冊が、大好評につき内容をアップデートして書籍化。歯周治療の基本と臨床における「思考力」がぐんぐん身につく、実力派の歯科衛生士を養います。

■ A4判変/160頁/カラー ■ 定価 4,950円(本体 4,500円+税10%) ■ ISBN978-4-263-44662-1

大好評の

月刊

『デンタルハイジーン』の  
別冊が、書籍になって  
アップデート!



好評書

## 新人歯科衛生士・歯科助手 ポケットマニュアル 第2版

江澤庸博 著

基本的なマナー、受付業務、電話対応、診療室の管理、患者対応、歯科治療に関する基礎知識など、臨床現場に出てすぐ必要とされる知識が満載の本書は、2022年も好評をいただきました。これから臨床に出る方、久々に臨床に出る方、さまざまな状況で歯科衛生士の仕事に寄り添います!

■ 新書判/264頁/カラー ■ 定価 3,740円(本体 3,400円+税10%) ■ ISBN978-4-263-42275-5

これまでの定番、これからも定番。

歯科医院に勤務して間もない  
新人歯科衛生士・歯科助手など  
デンタルスタッフのバイブル!

